

校 歌

相馬御風 作詞
山田耕筰 作曲

1. さくふう ゆきを ふきまきて どとう いわおに
ほゆるとも ときわの いるの あざやけく はー
んにや のーおーかーにむーらーだーて
る ゆうしりんーたーるま
っーこそは けーんじわれ
らがとーもーなーれや

校 歌

昭和五年制定

相馬 御風 作詞
山田 耕筰 作曲

一

朔風雪を吹き捲きて
怒濤巖に吼ゆるとも
ときわの色にあざやけく
盤若の丘に群立てる
雄姿凜たる松こそは
健児われらが友なれや

二

片時息まぬ米代の
流のごとも日に月に
いや進みゆく工業の
理学び技を練り
勉め励みて撓まざる
健児われらに幸あれや

三

若きは春の桜花
心は澄める秋の空
牙ゆる北斗の星のごと
輝く光望みつゝ
正しき道にいそしまむ
健児われらに栄あれや